

# 第6学年 国語科学習指導案

児童 6年 男11名 女12名 計23名

授業者 教諭 上野 樹

1 単元名 人物の生き方を考えながら読もう 「海のいのち」(東京書籍 6年下)

2 単元について

(1) 教材について

本単元の主な指導事項は、C読むこと(1)エ「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」及び、オ「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。」である。言語活動は、C読むこと(2)ア「伝記を読み、自分の生き方について考えること。」に対応する。

本教材は、6年生になって3度目の物語文である。「風切るつばさ」では、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を読む学習を行ってきた。また、「ばらの谷」では、人物像やその内面にある深い心情を読み取ることを通して、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめる学習を行ってきた。しかし、登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている場合の主題の読み取りは難しい。また、叙述から自分の経験や考えなどとの共通点や相違点を見付け、共感するところや取り入れたいところなどを中心に考えをまとめることは十分とは言えない。

本教材は、人物の関係と心情の変化について読み、心に残ったことをまとめる活動を通して、物語が自分に語りかけてきたことを自分の言葉で表現する力をつけることをねらいとしている。物語は、中心となる人物である太一を軸に展開するが、太一は、父や与吉じいさなど、周りの人物とのかかわりの中で成長していく。人物と人物がどのようにかかわっているのか、それが物語全体にどのように影響するのかをおさえ、直接的な表現だけではなく暗示的な表現にも着目させることで、人物の心情を深く読み取ることができる。と考える。

(2) 本単元における言語活動について

単元を貫く言語活動として、伝記を読み、自分の生き方について考えたことを「心の一冊 紹介カード」にまとめるという活動を位置づける。これから卒業文集を書き始めるにあたり、これまでの自分を見つめ直し、これからの自分の生き方について考えさせるのに適した活動と考える。カードには、その人物の行動や会話、心情、人間関係などから生き方や考え方をとらえ、自分に最も強く語りかけてきたことを自分の生き方と照らし合わせながらまとめるものとする。

3 単元の目標

○物語に興味を持ち、物語が最も強く語りかけてきたことを考えながら読もうとする。

【関心・意欲・態度】

○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。

【読むこと(1)エ】

○本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

【読むこと(1)オ】

○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。

【伝統的な言語文化と語句の特質に関する事項(1)イ(キ)】

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	読むこと	言語についての知識・理解・技能
・物語に興味を持ち、物語が最も強く語りかけてきたことを考えながら読もうとしている。	・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている。	・本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。

5 単元の指導と評価の計画

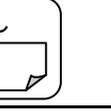
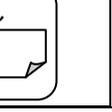
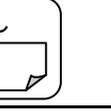
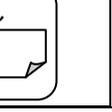
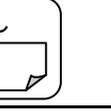
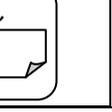
次	時	主な学習活動	評価規準と評価方法
第一次 つかむ	1	○物語の内容をとらえ、初発の感想をまとめる。 ◎感想を交流し、教材に興味をもつ。 【ペア】	関 物語に興味を持ち、初発の感想をまとめようとしている。(発言・ノート)
	2	○物語を「設定」「展開」「山場」「結末」に分け、全体の構成や人物の関係をとらえ、学習計画を立てる。 ○第三次で「心の一冊 紹介カード」を作成し、発表し合うことを知り、並行読書に取り組んでいく。 ◎段落の分け方について、考えを一つにまとめる。	読 場面分けの仕方を理解し、「設定」「展開」「山場」「結末」の四つの部分をとらえている。(発言・ノート)
第二次 深める	3	○段落□を読み、太一と父の生き方や考え方を読み取る。 ◎太一や父の生き方や考え方について、多様な考えに気づく。 【グループ】	読 太一の父への思いや、父の生き方を読み取り、自分が考えたことをまとめている。(発言・ノート)
	4	○段落□を読み、太一と与吉じいさの生き方や考え方を読み取る。 ◎太一や与吉じいさの生き方や考え方について、多様な考えに気づく。 【グループ】	読 太一と与吉じいさの生き方や海に対する考え方を読み取り、自分が考えたことをまとめている。(発言・ノート)
	5	○段落□を読み、太一の成長、与吉じいさの生き方や考え方を読み取る。 ◎太一の成長、与吉じいさの生き方や考え方について、多様な考えに気づく。 【グループ】	読 太一の成長や与吉じいさの生き方や海に対する考え方を読み取り、自分が考えたことをまとめている。(発言・ノート)
	6	○段落□を読み、太一の気持ちや成長を読み取る。 ◎太一の気持ちや成長について、多様な考えに気づく。 【グループ】	読 太一の成長を読み取り、自分が考えたことをまとめている。(発言・ノート)
	7	○段落□を読み、太一の気持ちの変化を読み取る。 【一人学び】	読 瀬の主に出会ってからの太一の気持ちの変化を読み取り、自分が考えたことをまとめている。(発言・ノート)
	8 本時	○段落□を読み、太一の気持ちの変化を読み取る。 ◎太一の気持ちの変化について、多様な考えに気づく。 【グループ】	
	9	○段落□を読み、太一の生き方や考え方を読み取る。 ◎太一の気持ちの変化について、多様な考えに気づく。 【グループ】	読 瀬の主と別れた後の太一の生き方を読み取り、自分が考えたことをまとめている。(発言・ノート)
	10	○物語全体を振り返り、太一の心情の変化について考える。 ◎太一の気持ちの変化について、多様な考えに気づく。 【グループ】	読 物語全体を通して、登場人物の生き方や考え方の変化を読み取り、自分が考えたことをまとめている。(発言・ノート)
	11	○物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉でまとめる。 ◎物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて、多様な考えに気づく。 【グループ】	読 物語が自分に強く語りかけてきたことを読み取り、自分が考えたことをまとめている。(発言・ノート)
	第三次 広げる	12	○生き方や考え方に影響を受けた伝記を選び、「人物の変化」「人物に対して思ったこと」「自分のふりかえり」を整理し、「心の一冊 紹介カード」にまとめる。
13		○「心の一冊 紹介カード」を発表し合い、感想を伝える。 ◎「心の一冊 紹介カード」を交流し、良さを見つけ合う。 ○単元の振り返りを行う。 【グループ】	読 友達の発表を聞き、考えを広げたり深めたりしている。(発表・ノート)

6 本時の指導

(1) 目標

太一の生き方や考え方が象徴された言葉をもとに、太一がクエを殺さなかった理由についてまとめることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	・指導上の留意点 ◇評価				
つかむ 1分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 なぜ、太一は、クエを殺さなかったのだろう。	・瀬の主と対面した太一の気持ちが大きく変化したことを振り返り、本時の学習につなげる。				
見通す 1分	3 見通しを持つ。 ・グループ学習の進め方を確認する。	・「グループ学習の進め方」を掲示しておくことで、いつでも確認できるようにする。				
深める 30分	4 考えを深める。 ・変化前の「殺そうと思った。」理由と、変化後の「殺さなかった。」理由を交流し、考えを深める。 【グループ学習】 ねらい 太一の気持ちの変化について、考えの同違を分類し、多様な考えに気づく。 進め方 自分の考えを付箋に書いて模造紙に貼り、リーダーを中心に分類し、小見出しを書く。 広め方 リーダーが前に出て模造紙を使って発表する。 5 全体で学び合う。 ・各グループから出た意見をもとに主題にせまる。 ◎なぜ、クエを殺さなかったのか。 ◎クエを「おとう」と思ったのは、なぜか。 ◎「本当の一人前の漁師」とは、どんな漁師なのか。 ◎題名「海のいのち」とは、何か。	・一人ひとりに配布した付箋(変化前を黄、変化後を赤)に自分の考えを書き、整理しやすくする。 ・グループ編成は、5グループ(1グループは5人か4人)。 ・各グループに、下のような模造紙を配り、考えを整理しやすくする。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">変化後(赤) 殺さなかった理由</th> <th style="width: 50%;">変化前(黄) 殺そうと思った理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> </div> </td> <td> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> </div> </td> </tr> </tbody> </table>	変化後(赤) 殺さなかった理由	変化前(黄) 殺そうと思った理由	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> </div>
変化後(赤) 殺さなかった理由	変化前(黄) 殺そうと思った理由					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">小見出し </div> </div>					
まとめる 13分	6 学習のまとめをする。 Bと捉えるまとめ方の例文 太一は、はじめ、 <u>あこがれていた父の復しゅうのために</u> クエを殺そうと考えていたけれど、「本当の一人前の漁師」とは人間の命を支えてくれる <u>めぐみ</u> を大切にして <u>自然と共存する漁師</u> であることに気付いたから殺さなかった。 Aと捉えるまとめ方の例文 <b>(自分に置き換えて考える)</b> 自分なら、クエを殺すと思う。理由は、海のめぐみであるクエを大切にしなければいけないという気持ちより、父の復しゅうをしたいという気持ちや村のみんなに自まんしたいという気持ちの方がたくさん出てくるから。 ・まとめを発表する。 7 本時の学習を振り返る。 8 次時の学習内容を確認する。	◇太一の生き方や考え方が象徴された言葉(「あこがれ」「復しゅう」「敵(かたき)」「めぐみ」「尊い命」「共存」「感謝」等)をもとに、太一がクエを殺さなかった理由についてまとめている。 【評価規準】 A 太一の生き方や考え方が象徴された言葉をもとにまとめている。また、自分に置き換えて考えたことをまとめている。 B 太一の生き方や考え方が象徴された言葉をもとにまとめている。 支援の手立て 太一がクエを殺そうと考えたり、殺さなかったりした理由を、これまでの学習を振り返って気付かせる。 「自分に置き換えて考える」は、壁面掲示を参考に書かせる。				

自分を見つめ直し、自分の生き方について考えよう

# 『心の一冊』 紹介カード

名前：○○○○

読んだ本の題名：野口英世

作者：浜野 卓也

題名：「強い心で生きていきたい」

## ①本の紹介

私が、生き方や考え方に影響を受けた本は、野口英世です。

## ②最も強く心に残ったこと(生き方や考え方)

とても貧しい家に生まれた英世は、小さいころ、左手にやけどを負ってしまい、指の皮ふがくつつき、手が棒のようになりました。すると、村の子ども達から「てんぼう」と言われていじめられ、悔しくていつも泣いていました。そんな時、母親に、

「悔しいなら、勉強してみんなを見返しなさい。誰にも負けないような立派な人間になりなさい。」

と言われ、その言葉をきっかけに、たくさん勉強して、医者を目指すようになりました。そして、黄熱病という病気の原因を一生懸命に研究し、医学の発展に尽くしました。

## ③自分に置き換えて考える(生き方や考え方)

自分なら、やけどといじめによって、心を閉ざしてしまうと思います。理由は、こんなに悲しいことが多いと、心が耐えられなくなるからです。だから、英世は、心が強いと思いました。

僕は、英世のように心が強くありません。何かうまくいかないことがあると、すぐにあきらめてしまいます。以前、校内マラソン大会に向けた練習をした時、お腹が少し痛くなっただけでスピードを落としたり、ライバルと思っていた友達に追い抜かれただけで「もう、いいや。」とあきらめたりしていました。英世のように、どんな苦しいことがあっても、あきらめない強い心にしていきたいです。

## ④将来の夢

僕には、「教師になりたい。」という夢があります。英世が人々のために研究したように、僕も教師になったら子ども達のために「強い心」で一生懸命に勉強を教えたいと思います。